



### 会長挨拶



北海道立農業大学校  
同窓会会長  
**若井 和博**

北海道立農業大学校  
同窓会会長

## 聖鋏会報

発行所  
北海道立農業大学校  
同窓会

中川郡本別町西仙美里25-1  
電話 0156-24-2122  
編集事務局

北海道立農業大学校 同窓会

役員(平成十七、十九年度)

会長 若井和博(十勝・農二)  
副会長 欠 員(十勝)

青木 伸(網走・農六)

欠 員(日高)

鈴木 一義(根室・講二)

小倉 清爾(石狩・講十二)

芳沢 浩一(釧路・講九)

川本 秀二(十勝・農二)

福田 秀利(十勝・農二)

八木沼彰男(十勝・農二)

杉本 剛(根室・講七)

松田 修人(釧路・講十八)

同窓会の皆様には、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。今年、品目横断がいくつかの問題をかかえたままスタートしましたが、いかがでしたでしょうか。それにしても、連日ニュースで報道される食の安全を揺るがす大きな偽装事件、非常に残念な気持ちでいっぱいです。道産品の安全性について、それぞれの地域で取り組みがなされていると思いますが、食を提供する我々は消費者でもあることを心して、一日でも早く信頼回復できるようにがんばりましょう。

また、平成二十年は、同窓会東日本ブロックの総会が、当校で開催される予定です。その際は、皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げます。新たな年がより良いものになりますよう御祈念して、挨拶いたします。

同窓会役員は規則に従い、会長は総会で選出され、その他、副会長、理事(庶務、会計)、監事は総会の承認を得ることとなっております。現在、十勝、日高の支部長(副会長)職が欠員となっております。

今年は三年に一度の総会開催の年で、(後述)これに合わせて、役員を担って頂ける方を探しています。自薦他薦は問いませんので、引き受けてくれる方がいましたら、事務局までお知らせ下さい。

### 期別世話役

〈農講〉2 鈴木一義 / 3 川端治 / 5 菅谷誠 / 渡辺善信 / 7 大沢義一 / 8 植田博 / 9 森田洋三 / 10 森山陸美 / 11 大平清吉 / 13 辺見政孝 / 16 小南和夫 / 17 佐川満 / 18 吉田甫 / 19 西山利昭 / 20 河田裕 / 21 相沢勲 / 22 石川眞清 / 23 松崎文一 / 25 仲鉢昭夫

〈農大〉1 川本秀二 / 2 和田嘉晴 / 3 塩村昭博 / 4 石丸博雄 / 5 高井正行 / 6 道下貞夫 / 7 笹島喜郎 / 8 岩井敦史 / 9 井出和実 / 10 富山和也 / 11 石原英之 / 12 森本耕二 / 13 宮本茂行 / 14 牧村康弘 / 15 小松洋一 / 16 遠山昇治 / 17 田村直樹 / 18 大裕晋二 / 19 近藤大樹 / 20 三田浩司 / 21 佐藤昭徳 / 22 熊谷直哉 / 23 田中真理子 / 24 塚田秀則 / 25 齋藤かおり / 26 日光純一 / 渡邊基樹 / 27 柏葉宏樹 / 嶋貫一也 / 28 鈴木隆也 / 中澤光太郎 / 29 今西大和 / 今野大吾 / 30 山木秀幸 / 佐藤貴文 / 31 中澤好喜 / 幕田桂一 / 32 黒川昌毅 / 若木章宏

〈農大稲作〉1 吉田和浩 / 2 大江博之 / 3 穴戸聖 / 4 平塚美明 / 5 水嶋淳 / 伊藤優治 / 6 石川英樹 / 7 嶋田雅虎 / 8 泊り雅幸 / 9 石崎憲一 / 10 富樫孝 / 11 岡村博信 / 12 平隆之介 / 13 吉見拓也 / 14 吉村正之 / 15 森勇貴 / 16 石川大輔 / 17 竹内誠 / 18 國岡晃平 / 19 中山義之 / 20 外山隆祥

〈農大研究〉1 内野康晴 / 2 加藤幸嗣 / 3 木村晴美 / 4 山岸淳 / 5 中西崇継 / 6 今西大和 / 7 仁井邦夫

## 同窓会総会のお知らせ

### ●第11回同窓会総会●

平成20年2月9日(土)15:00～ 総会 農大会議室  
18:00～ 懇親会・宿泊 本別温泉グランドホテル

3年に1度行う総会です。合わせて懇親会も行います。ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ご出席くださいますよう、よろしく申し上げます。お申込みは、お電話か、同封した用紙をFAXまたは郵送でお願いします。

# 魅力ある農大を目指して



北海道立農業大学校  
校長 樋口 廣作

寒さが日一日と増し、冬本番を迎えようとしています。同窓会の皆様にはお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、本校の運営に多くのご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年の農業生産は、七月の低温・少雨の影響で農作物の生育停滞が見られました。八月の記録的な猛暑などにより、生育が回復し、一部の地域に低温の影響が残ったものの、全般にはほぼ良好な作柄となりました。生産者の皆様のご努力に感謝を申し上げます。

なお、米については、近年、全国的に北海道米の評価が高まっており、道内消費率も七十パーセントに迫る伸びが予想されていることから、今年の出来が心配されましたが、全道的には平年をやや下回る作柄となりました。そのような中、需給の緩みなどから府県産米の価格が大幅に下がってきており、道産米への影響が懸念されます。

また、原油価格の高騰による燃料をはじめとした各種資材の値上げ、更には燃料用エタノール需要の増加による飼料用とうもろこし価格の高騰など、農畜産物価格が低迷する中で生産コストの上げ要因が多くなっており、農業

経営への影響が心配されます。

更に、今年から品目横断的経営安定対策などの農政改革がスタートしております。WT0・EPA交渉や食の安全・安心への対応、環境との調和など、農業は多くの課題を抱えております。

私も農大職員としては、このような厳しい農業環境のまった中に卒業生を送り出していかなければならぬ訳で、責任の重さを痛感しているところです。

さて、農大の最近の動きですが、六月に全国農業大学校等運営研究会が東京で開催され、本校が専修学校化に伴い全国に先駆けて十八年度から取り組んだ「学校評価」と、環境と調和した持続的農業の教育として十三年度から取り組んでいる「有機農業の実践教育」について報告を行い、いずれも高い評価が得られました。

これも同窓会の皆様や先輩職員が積み重ねた実績や努力の賜であろうと思っております。今後、「学校評価」については評価の過程で明らかになった課題の解決に向けて具体的に取り組んでいくことが必要ですし、「有機農業の実践教育」についても安定した収量や品質が得られるような栽培管理技術の確立が求められていますので、より一層充実した内容とすべく、これからも継続して取り組んでまいりたいと考えております。

少子化等から大学全入時代を迎えたと言われておりますが、本校においても学生の確保が重要な課題となっております。

ります。このため、今年は例年より早くから募集活動に取り組み、その活動内容も、新たに個別相談会を道内数カ所で行うなど、強化いたしました。その結果、定員を超える受験申込みがあり、何とか二十年度の学生は確保することができました。

しかし、道内の各大学・短大・専門学校が生き残りを賭けて競い合っておりますし、高校卒業生の進路希望が多様化しておりますので、農大としては、今後一層、農業後継者を重点に募集活動を強化するとともに、農大の魅力づくりに取り組んでいかなければならぬと考えているところです。

同窓会の皆様におかれましても、それぞれの地域で農大のPRをしていただければ幸いです。

私も農大職員としては、学生に「農大に来て良かった」と言ってもらえるよう、魅力ある農大を目指して更に努力を重ね、優れた意欲ある若者を農業の現場に送り出すことにより、北海道農業の発展に貢献してまいりたいと考えております。

同窓会の皆様には、今後とも変わらぬ暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 農大この一年

〔主なできごと〕

二月 全国プロジェクト発表会（東京都）

本校より、出場していた学生（網走市出身 佐藤慎哉君）が最優秀賞を受賞しました。近年では初の快挙でした。



三月 卒業式

畜産経営学科三十名、畑作園芸経営学科二十八名、稲作経営専攻コース十名、農業経営研究科九名の計七十七名が、それぞれ本校を卒業、修了しました。



四月 入校式

畜産経営学科二十九名、畑作園芸経営学科二十三名、稲作経営専攻コース八名、農業経営研究科六名の計七十六名が、本校に入校しました。

大人気の農大  
プロレス→



←ロール転がし大会

七月 農大祭  
今年の祭りでは、「農大プロレス」が再復活。また、「ロール転がし大会」や、本別町特産物の豆にちなんだ「豆とばしゲーム」等のイベントも行いました。好天にも恵まれ、多くの町民の方々にも喜ばれました。



十月 農大市

農大で収穫された農作物に加え、農大で育てられた肉牛(牛肉)を販売しました。昨年度からは、農大産原料で加工されたアイスクリーム、チーズ、ジャム、パン等も販売されています。町周辺の住民がご来校されました。



商品説明もバッチリです



美味しいイモができました

★ 同窓生の広場 ★

「自分と農講」



農講十期生

山口 正明  
(白糠町)

早いもので、農講を修了して、五十年になりました。今は無くなった池北線の仙美里駅に降り、あの坂道を上がって講習所の正門の前に立った時は、期待より不安の方が強かった様な気がします。それでも若かったせい、又二年生や先生方の励ましや指導によって半月もしたら寮生活に慣れ講義室での勉強、農場や畜舎での実習も皆と一緒に頑張ったものです。

当時は食糧事情が悪く、皆腹を空かして、早く炊事関係の当番が回ってこないかと思っただけです。いつも同期会で話題になるのですが、日曜日に付近の農家にバイトに行く、昼食にイナキビ御飯を腹いっぱい御馳走になれるので、それも楽しみにいったなど話しています。そんなことも今は良い思い出になっています。

自分は三十数年前から会社員をしていますが、あの一年間の経験が随所で役立っている様な気がします。仕事上の問題解決には実習の時のチームワークが、社内での人の和は寮生活の中で得たものだと思います。私事です。が、今年、古希になりました。残りの人生、あと何年あるか解りませんが、農魂の精神で頑張りたいと思っています。

「農大の思い出」

農大九期生



畑作経営学科  
梶原和亀男  
(安平町)

早いもので、農大を卒業して二十余年。今や農業者営農第一線働いている年代で、同期生や先輩・後輩の方々も各方面で頑張っておられる事と思います。

今年、家族とともにこの十勝農大へ行く機会があり、ちょっとしたドライブ気分でも二十数年ぶりに訪れてみた。二十年という時の流れは大きいもので、その様変わりには驚くものでした。私の地域にも何人かこの農大を卒業し農業をしている後輩がいて、彼らからもその様子など聞いてはいたが、自分の中にはまだあの当時のイメージがあった。仙美里に到着してから学校の敷地を皆でぐるっと一周り。一部にはまだ当時の面影が残っていて、懐かしいなど思いながら新しくなった校舎に入り、教務部長の高木さん、同じく教務部の専門普及員内田君に現在の農大の概要の説明を受け、その後校内・農場内施設を案内してもらいました。数々の最新機械、各種設備、作業環境も整っていてかなり驚きました。

しかし、案内してもらいながら話を聞いてみると、基本的な農畜作物の管理、作業体系、プロジェクトの関係などについてはすべて学生のプランと実行に任せている所などは私が学んでいた頃と基本的に変わりないのだという

ことがよくわかった。また、農場管理や実習の事、農大祭・農大駅伝などの行事、寮生活やコンパといった、楽しかった学生時代のことを思い出しながら帰ってきました。

一緒に行った自分の息子とその友達。皆、農業後継者となりうる子供達だが、進路選択の時期を迎え、彼らの目にこの農大の環境はどう映っただろう。

農大在学中にはたくさん友人が出来、離れてしまった今でも同じ釜の飯を食った仲間として繋がりをもち、皆それぞれの経営で頑張っている。これからはますます健康に留意し、年々厳しくなる情勢の中でも安定した営農に励んでいければと思っています。

「あれから二十年・・・」

農大三十三期生

畑作園芸経営学科

八田 卓子

(中札内村)

皆さんお元気でしょうか。農大を卒業して二十年。結婚して十四年。若妻さんと呼ばれていた時代も過ぎ、すっかり女性部につかかってしまった私も、三児の母となりました。(あつ、旧姓道下です。)

家で農作業をしていると、みんなとおしゃべりしながら草取りしてたなあとか、(今はラジオが友達。)朝早く起きて畑に行き、みんな一列になつて豆を手刈りしたよなあとか、農大時代がとてなつかしく感じられます。

そうそう先日、(九月三十日)畑園の今泉君が結婚したんですよ！はるばる友人と網走まで行って来ました。畑園は二十一年近く同窓会がなく、誰かの結婚式が同窓会のようになつてしまふので、農大席はいつもにぎやかです。

中札内と言えば枝豆なのでしようが、私は家の畑作経営の他に、十年程前から三軒共同による、菌床栽培での生椎茸の栽培をしています。その名も「もっこりしいたけ倶楽部」といいます。農閑期の仕事にと始めたものが、今ではほぼ一年通しての仕事となりつつあり、自分達で収穫、パック詰め、箱詰めをし、地元の直売所、生協はもとより、管外の業者などにも出荷しています。アドレスを載せておきますので、興味のある方は是非アクセスして見て下さい。



<http://just.st/?in=7133342>

★ 新しい仲間 ★

「農大生活を終えて」



農大三十二期生  
畜産経営学科  
金山 翔太  
(本別町)

農大を卒業して八ヶ月ほど経ちました。私の学校生活を思い出すと、実習とバイトに明け暮れた忙しい日々だった様な気がします。

今は、自家での仕事に日々苦戦しています。私が自家で働くことになって変わったことは、カーフハッチを導入したこと。それまでは、ビニールハウスの牛舎で管理していたため、伝染性の疾病に悩まされていましたが、ハッチにしてからは個別に管理することで疾病が減り、子牛の発育も良くなってきました。

自家に就農して、はじめは嫌々やっていた仕事も、このような成果が現れてくると、少しずつですが、酪農のおもしろさが分かってきた様な気がします。今は、もっと酪農に関する知識を得たり仲間作りをするため、農協の酪農青年会に入り、優良事例の視察や多くの人達との交流を積極的に行っていきます。これからは少しずつですが自分なりに様々なことにチャレンジしながら自家の経営を発展させていきたいと思っています。

「出発点!!」



農大三十二期生  
畑作園芸経営学科  
若木 章宏  
(本別町)

今春農業大学校を卒業して、九ヶ月が経とうとしています。時折同期の仲間が全道で活躍している姿が目につくたび、在学中の思い出がよみがえってきます。

仲間と意見をぶつけ合い、朝まで語り明かした寮生活は集団生活を通して「友」の大切さを痛感しました。今後の同窓会での再開を考えると楽しみに思います。また恵まれた環境の中、専門的な講義や実践的な実習によって、改めて作物生産の難しさを実感しました。この二年間が私達の原点となり、一生の思い出となることでしょう。

私は農大卒業後自家に就農し、日々汗を流しています。農業は一つのミスがその年の致命傷になることもありま。一瞬一瞬を大切に、これまで受け継がれてきた「農」を継承していきたいと思っています。

今後、農業を取り巻く情勢は、ますます厳しい時代を向かえようとしています。農大で出会った仲間を大切に、共に北海道農業を背負う担い手として貢献したいと思っています。今後とも同窓会の先輩方にはご指導の程よろしくお願い致します。

「二年目を終えて」



稲作経営専攻コース  
二十期生  
加藤 亮  
(北竜町)

今年の春、稲作経営専攻コースを卒業し、早くも一年が経とうとしています。無事に収穫を終える事ができ、一安心しました。

一年目という事で、何もよくわかっていない状況で、親や周りの農家の方々に指導を受けながら必死に仕事をしました。

私の家では、花を作っています。お盆前になると、朝から晩まで選花をしていて、近所の方にもパートとして来てもらっています。その中で私は少しの時間も無駄にはできないと深く感じました。時間を有意義に使い、仕事の量を増やすという事は、収入アップに直接つながってきます。要領、効率の良い作業を目指し、努力していきま

す。これから冬になりますが、私は農大の時に学んだ経営分析の基礎を元に、さらに細かく我が家の経営を把握したいと思っています。来年、より良い経営が出来る様、今のうち出来る事を一生懸命頑張ります。

「農大での生活を生かして」



農業経営研究科  
七期生  
野村 真基  
(土幌町)

農大のみなさん、同期のみなさんお元気ですか？みなさんが、毎日の仕事を頑張っている姿が想像できます。そんなことを考えながら自分も頑張っています。

今年の春に、農業経営研究科を卒業して早くも一年が経とうとしています。農大で過ごした二年間の日々は、素晴らしい仲間や農業に対する様々な考え方を得ることができました。

また授業や実習で学んだことは、これから農業を営んでいく中で自分の一部として生きていくと思います。

今は、一年間の仕事を身に付けるために、一日一日を大切にしながら仕事をおこなっています。これからは仕事をしっかりと覚え、そして様々なことにチャレンジし、自家や地域の活性化を目標として頑張っていきたいと思っています。



期別活動報告

農講二十期生同期会

幹事 須藤 清

二十期生修了四十年目を記念して平成十八年十一月二十五日(土)阿寒湖畔温泉で同期会を開催しました。春四月に開催予定をしていましたが、ハウス関係の方が忙しいとの事から十一月の農閑期に開催しました。参加者は十四名と少なかったのですが四十年ぶりに逢った仲間等、少ないなりに中身の濃い同期会となりました。後、数年で還暦を迎える年となるのでその時期にまた皆で逢おうと帰路に着きました。



農講二十四期生同期会

幹事 浅井 春雄

平成十九年二月三日(土)北見市温根湯温泉にて農業講習所二十四期卒業生同窓会が開催されました。

農業講習所を卒業し三十六年の月日が流れる中、卒業生三十九名、先生一名の四十名で実に懐かしく楽しい一時をすごすことができました。卒業時十六歳の少年・少女も五十歳をすぎ、その間、北海道の地で農業を守り続けてきた友、又、農業の夢をすて、自らの力で新たな仕事で人生をきりひらいてきた友、今は皆、立派なおじさん、おばさんになってきましたが、この一時は、昔の少年・少女にもどり、思い出を語りながら再会を喜びあう事が出来ました。

次の同窓会は帯広地区が担当し三年後の開催を確認し、楽しい同窓会が終了しました。



道立農業講習所24期生クラス会 於：大江本家 平成19年2月3日

農講二十一期生同期会

幹事 相沢 勲

平成十八年八月二十六日、講習所を卒業してから、四十年ぶりの同窓会を十勝川温泉において開催いたしました。百名中十八人が出席し、僅かに面影のある人や、まったく判らない人もおりましたが、時間と共に話はずみ昔話に花を咲かせ楽しい一時を過ごしました。その席で、仕事で全道を回っている札幌在住の小木俊一君が、卒業アルバムの写真と現在の写真を一冊にしたアルバムを作ってみようと言うことになり還暦の年(平成二十二年)に再び同窓会を開く事を約束し別れました。一年遅れましたが報告致します。

追伸

現在四十名程度まで進んでいるとの事。皆アルバムの出来上がるのをとても楽しみにしているそうです。



農講十五期生同期会

幹事 佐々木政行

私達、農講十五期生は卒業後ほぼ五年に一度、聖敏十五期の会と称する集いを行って参りましたが、去る平成十九年四月九日、阿寒湖畔温泉鶴雅にて尾上、土門、両先生と加藤夫人に参加していただき、楽しい一夜を過ごすことが出来ました。特に今回初めて夫婦で参加する事とし総勢二十七名でにぎやかに行われて次回はもっと早いサイクルでやりましようとの約束をして散会を致しました。



農大研究科四期生同期会

幹事 山岸 淳

去る二月十七日に観月苑で同窓会を開催しました。今年度で私達研究科四期の担任だった添島さんが転勤になるので、今までの感謝を込めて送別会も同時に行いました。

前回来られなかったメンバーも参加し、久々に四期全員がそろいました。本当に添島さんには迷惑をかけた四期のメンバーです。見放すことなく付き合ってきた事にとっても感謝しています。農大からいなくなるとなかなか会いに行けなくなるのでとても残念です。研究科で過ごした二年間を先生方と一緒にスライドで振り返り、昔話に花が咲きとても懐かしく思いました。

卒業後三年が経ちましたが、一人一人みんなが立派な顔立ちになって、それぞれの場所で頑張っている様子が伺えました。あと？年後、皆に家族が増え、皆の家族を交えて同窓会が開ければいいなあ



事務局からのお知らせ

- 一 本会報は農講、農大卒業生に對して年に一度送付されています。しかし、住所不明で返送されることもあります。同期の方等で会報が届いていない方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までご連絡頂きますようお願い下さい。
- 二 会費、寄付金は引き続きお引き受けしております。ご協力よろしくお願ひします。
- 三 支部活動、同期会を計画された方は事務局までご連絡下さい。会より援助金を支出します。また、会報で活動を紹介させて頂きます。
- 四 同窓会ウェブページについて 同期会、支部会開催のお知らせ、開催結果、その他活動について、ご要望があればページ上に載せていきます。事務局までご連絡下さい。

編集後記

「同窓生の広場」は本校職員よりお願いして寄稿頂いています。ご協力ありがとうございます。卒業生の皆様で寄稿頂ける方がいましたら事務局までお知らせ下さい。投稿大歓迎です。

今年度は三年に一度の総会の年です。これを機会に是非農大にいらして下さい。お待ちしております。